

重点取組名	岩手ならではの農業改良普及事業改革
普及活動担当	鈴木 茂 (岩手県農林水産部農業普及技術課)
主要な活動地域・ 対象農業者	全域
取組結果・成果 (取組みのねらい)	<p>・ねらい 本県の農業改良普及センターを「現場に密着し、柔軟性と機動性に富み、普及指導機能を強化した組織」に改革する。</p> <p>・取組み 農業改良普及センター内部組織体制の変更(4月) 普及事業改革の地域説明及び農業者インタビュー(県内13カ所:5月～6月) 意見等を踏まえた普及事業改革案の検討(5月～6月) 各地域からの要望対応(11市町村等:6月～7月) 県農業改良普及協議会への公表(7月25日) 普及議場改革の地域説明(県内13カ所:8月) 各地域からの要望対応(11市町村等:7月～9月)</p> <p>・成果 地域に密着した普及活動を展開するため、地域の農業特性に応じて普及センターを9カ所に配置 地域課題に柔軟かつ機能的に対応するため、組織のフラット化とチーム制を導入 普及指導機能強化のため、マネジメント機能を強化し、規模を20人～30人、職員の資質向上のためのOJTができる体制 高度な技術指導に対応するため、県域活動を行う県域普及グループを設置</p>
連携機関、協議会	農業者、市町村、農協、普及職員協議会
取組の特徴や取組に際しての工夫	地域ごとのニーズに即した普及活動が臨機応変にできるよう組織体制を整備したが、スタートラインについたばかり。これからが本来の普及事業のあり方について地域地域において成果の検証を行い、創意工夫を図りながら、よりよい体制について検討を進めていくことが重要である。
【参考】	

